

# 第3期 六荘地区住民福祉活動計画

2024年度▶▶▶2028年度



## ふれあいと 支えあいで育む 六荘

この計画は福祉（暮らし）について住民みんなで考え行動するための指針です。住民、福祉関係機関及び各種団体の垣根を越えた話し合いの機会をもつことで活動のより良い推進につとめます。住民のみなさんひとりひとりが協力しあい、子どもから高齢者まで、誰もが住みやすいまちを皆さんと一緒につくっていきましょう。

六荘地区住民福祉活動計画策定委員会

# 第3期六荘地区住民福祉活動計画の策定について

## ◆策定の背景

### ・地域の力を合わせて進められてきた福祉活動計画は、新たなステージへ

六荘地区では、平成27年に「第1期六荘地区住民福祉活動計画」を策定、さらに平成31年3月には「第2期六荘地区住民福祉活動計画」を策定し、「ふれあいと支えあいで育む六荘」を基本理念に様々な活動に取り組み、展開してきました。

長浜市南部に位置する六荘地区は、長浜市人口の約12.7%、14,000人を超える住民が居住し24自治会にて構成しています。しかしながら、この間にも、六荘地区においても高齢者が徐々に増加し、ひとり暮らし高齢者や要介護認定者、しょうがい者など、支援を必要とする人が増加してきています。また、隣近所間のつながりの希薄化や地域活動の担い手の減少など、これまでの計画から継続して取り組む必要性のある課題があります。地域住民同士が連携し、新たな人材の育成、新たなつながりの仕組みづくりが必要とされています。

また一方で、新型コロナウイルスの影響などから、生活に困窮している方、ひきこもりなど、地域の中で孤立してしまっている人の課題が新たに浮かび上がり、国を挙げた「地域共生社会」の推進を図っているところです。

このようなことから、地域福祉をさらに発展的に推進するため、各関係機関、行政が連携し新たな課題への対応を図っていくために「第3期六荘地区住民福祉活動計画（以下、「第3期計画」という。）」を策定します。

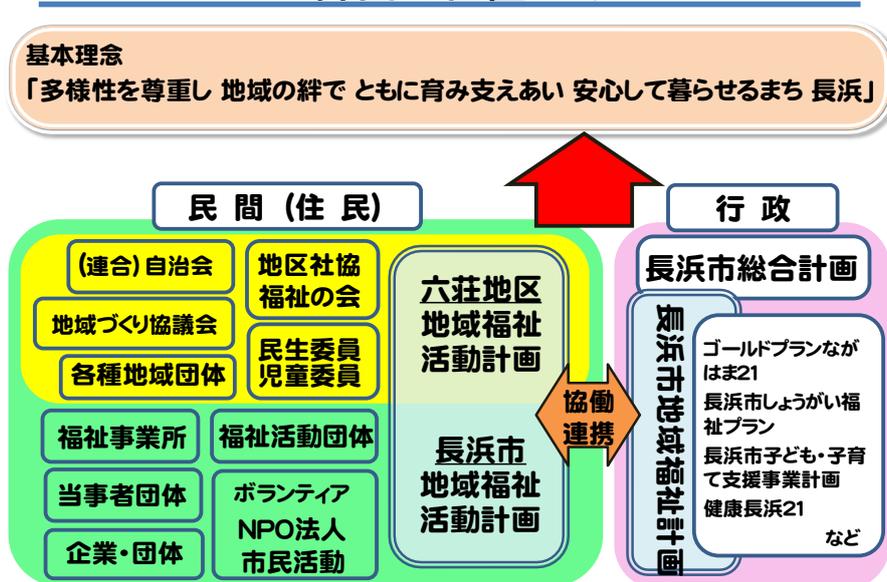
## ◆計画の位置づけ

### ・地区、市エリアを活かした一体的な計画

六荘地区住民福祉活動計画は、福祉（暮らし）について住民みんなで考え、行動するための指針であり、「住民参加」による活動・実践と関係機関・団体との「協働」を図りながら、福祉課題の解決を目指し、「住民主体による福祉のまちづくり」を幅広く進めるための計画です。

「長浜市地域福祉活動計画」と一体的に策定し、相互補完による活動メリットを最大限活かせる活動展開とします。

## 計画の位置づけ



## ◆計画の理念と重点項目

### ・基本理念

第3期計画をより充実するため、長浜市の基本理念の下、一步踏み込んだスローガンとして「ふれあいと支えあいで育む六荘」を掲げ、引き続き住民参加による地域福祉を推進します。

### ・基本目標

長浜市地域福祉活動計画にあわせ、基本目標である「地域づくり」「人づくり」「仕組みづくり」を活動の視点として捉え、「基本目標」のより具体的な行動目標として、第2期の6つの重点目標についても引き続き継続します。

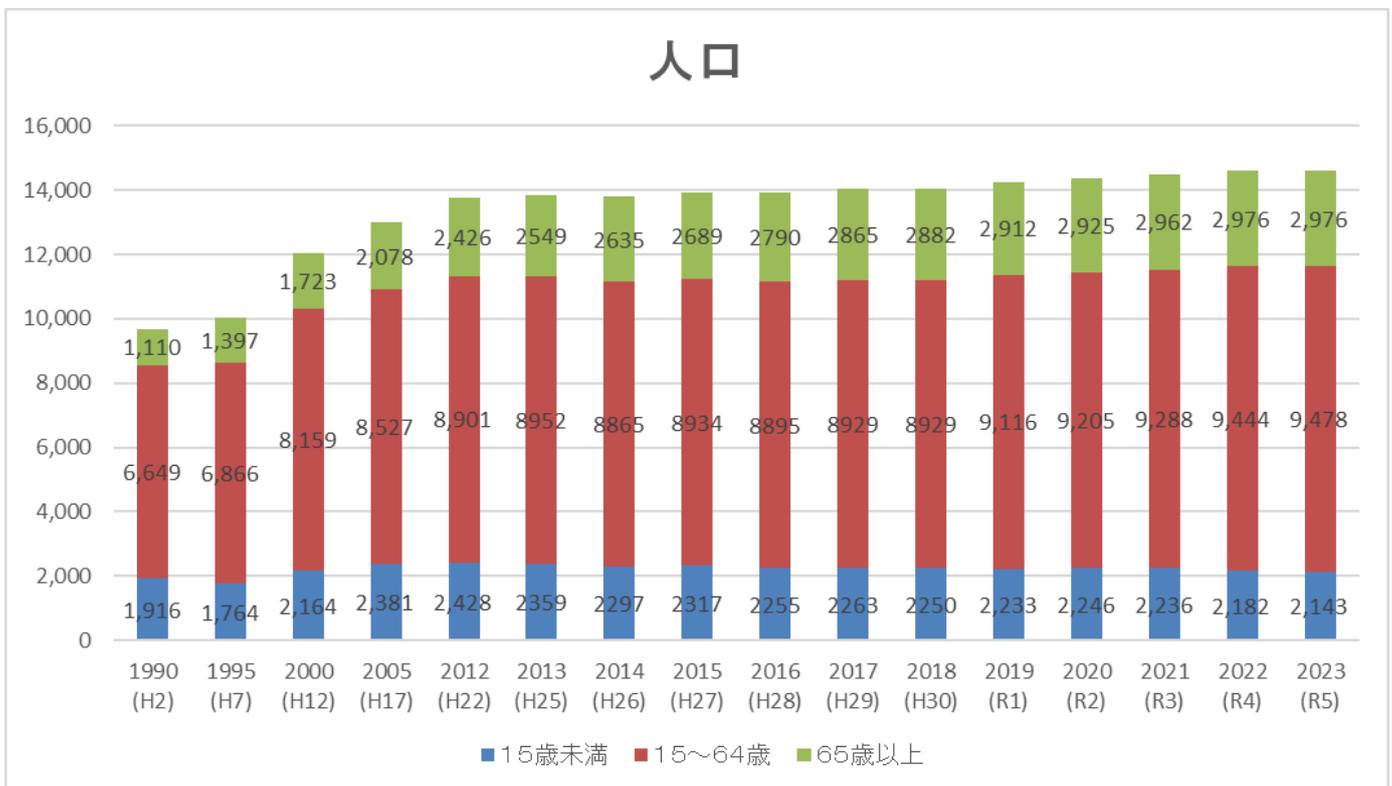
また、地域を取り巻く環境の変化に応じ、必要な場合は、他の計画との整合を図りながら見直すこともあります。

## ◆六荘地区の現状と課題

新たな若い世帯の増加により、六荘地区としての高齢化率は低い（20.4％）が、自治会によっては高齢化率が非常に高いところもあり地域格差が一層顕著になってきています。また、新しい世代の台頭により近隣同士のつながりが薄く、交流の機会が少ないことから支えあいや見守りに対する意識が低い地域が多く、地域課題があっても表に出づらい地区でもあります。

また、店舗、医療、公共機関、福祉施設等が多数存在し、生活環境は恵まれています。一方、だんだんと迫りくる高齢化に備えた予防意識、健康意識が低く特定健康診断の受診率が低くなっています。

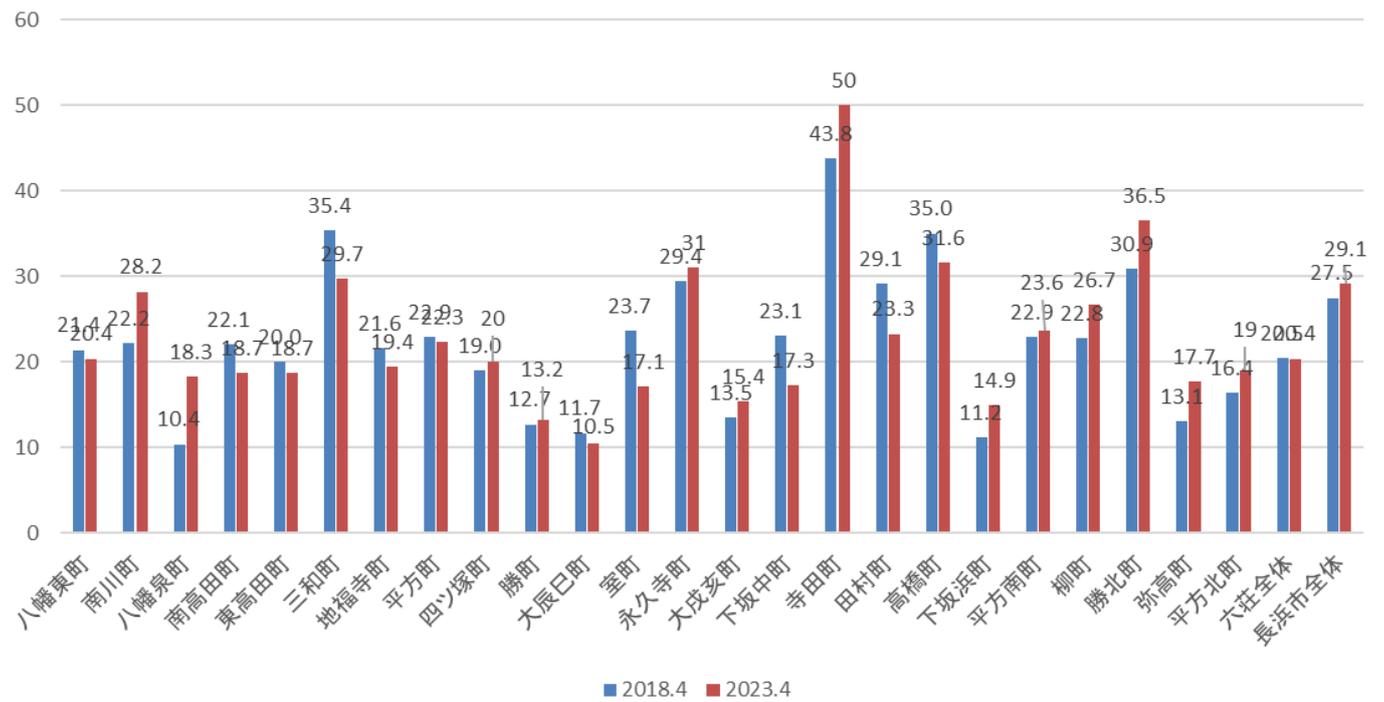
各年度 4月1日現在



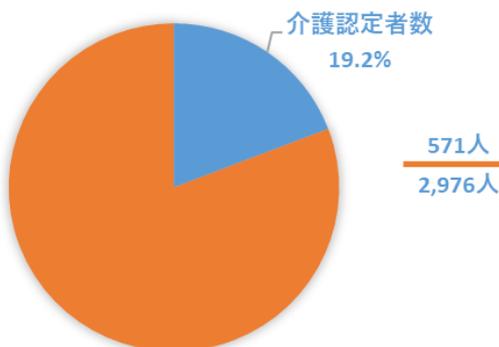
### 男女比×高齢化率



### 自治会別高齢化率



### 介護認定者の割合



## ◆六荘地区住民福祉活動計画

活動の視点	基本目標
地域づくり	1. ふれあいが結ぶ住みよい地域づくり 2. 健やかな成長と交流ができる地域づくり
人づくり	3. つながりを深め成長しあう仲間づくり 4. お互い様でつながる仲間づくり
仕組みづくり	5. 一体となって活動できる仕組みづくり 6. 安心と安らぎのある仕組みづくり

### 基本目標 1

#### ふれあいが結ぶ住みよい地域づくり

##### 現状：

高齢化率は、20.4%と長浜市内で最も低い地区となるが高齢者数は約 3,000 人となっています。コロナ禍も落ち着き以前のように地域での交流活動も少しずつ取り戻してきています。つながりの希薄化が時代と共に進む中、住民同士がつながり、交流する機会が必要とされています。また、自宅に閉じこもらないよう外出の機会を創出する必要があります。

住民ひとりひとりのつながりとふれあいがあり、交流する事によりふれあいが結ぶ住みよい地域づくりを目標として、下記の活動を実施してきました。

##### 【第2期計画実施事業】

- ・ひとり暮らし等高齢者ふれあい活動／ひとり暮らし高齢者訪問活動
- ・「敬老の日」訪問活動
- ・「ふれあいフェスティバル」「文化祭」等の交流機会の支援

##### 今後の取組：

第2期を継続し、「ふれあいが結ぶ住みよい地域づくり」を目標とし、他団体と協働して活動に取り組んでいきます。また、少子高齢化が進む中、高齢者が自宅に引きこもらず外出できるよう、地域でのつながり、居場所づくりをさらに充実させるため自治会へのサロン活動啓発と定期的な広域サロンの実施を目指します。

##### 【主な事業】

- ・ひとり暮らし等高齢者ふれあい活動／ひとり暮らし高齢者訪問活動
- ・「敬老の日」訪問活動
- ・「ふれあいフェスティバル」「文化祭」等の交流機会の支援
- ・高齢者の居場所づくり（自治会サロン、六角サロン）

## 具体的な実施計画：

- ひとり暮らし等高齢者ふれあい活動／ひとり暮らし高齢者訪問活動
  - ひとり暮らし等高齢者ふれあい会
  - 外出の機会として食事会や芸能鑑賞を実施するとともに園児とのふれあい交流の場を設定
  - ひとり暮らし高齢者訪問活動
  - ひとり暮らし高齢者を対象に粗品と共に友愛訪問を実施
- 「敬老の日」訪問活動
  - 88歳お祝い訪問、最高齢者へのお祝い訪問
- 「ふれあいフェスティバル」「文化祭」等の交流機会の支援
  - 「ふれあいフェスティバル」等地域交流事業への共催・支援
- 高齢者の居場所づくり（自治会サロン、六角サロン）
  - 自治会での新規「サロン」導入へのサポート、既存実施自治会への継続的な支援を行う。また、住民の定期的な居場所づくりとして六角サロンを運営する。



## 基本目標 2

### 健やかな成長と交流ができる地域づくり

#### 現 状：

六荘地区は、店舗・医療・公共機関、福祉施設、教育機関等が多数存在し、生活環境は比較的恵まれ暮らしやすい地域である一方、高齢化に備えた予防意識、健康診断の受診率が低いなどから健康づくりへの意識が低いと考えられます。また、新旧世帯が混在している地域がゆえに、地域の希薄化が進む中、誰もが相談できる体制整備が必要とされ相談窓口の周知や専門職の取り組みが必要とされています。

誰もがいつまでも健やかに成長することができる地域づくりを目標に、下記の活動を実施してきました。

#### 【第2期計画実施事業】

- ・重度しょうがい児・(者) 家族支援
- ・子育て支援（新生児家庭訪問、子育てサロンへの支援）
- ・健康づくり事業支援（ロクテク）
- ・三世代交流事業（獅子舞鑑賞）

#### 今後の取組：

第2期活動計画を継続し、健やかな成長と交流ができる地域を他団体と協働して実施していきます。他団体との地域福祉に関わる事業について、課題について共有し、解決に向けた取り組みを協議し取り組んでいきます。子育て支援については、新生児やしょうがいがある家庭等を支援していきます。また、住民一人ひとりが健康でいつまでも健やかな生活を維持できるよう、必要な健康づくり事業の実施、誰もが相談しやすい体制整備を目指し、専門職と連携した取り組みを検討していきます。

## 【主な事業】

- 重度しょうがい児・(者) 家族支援
- 子育て支援（新生児誕生お祝い訪問、子育てサロンへの支援）
- 三世代交流事業（獅子舞鑑賞）

## 具体的な実施計画：

- 重度しょうがい児・(者) 家族支援  
訪問支援による見守りの強化と地域のつながりづくりを図る
- 子育て支援（新生児誕生お祝い訪問、子育てサロンへの支援）  
新生児家庭訪問支援による見守りの強化と地域のつながりづくりを図る
- 健康づくり事業支援（ロクテク）  
健康ウォークの普及促進、健康に関する啓発の実施
- 三世代交流事業（獅子舞鑑賞）  
獅子舞鑑賞を通じた世代間の交流活動の実施

## つながりを深め成長しあう仲間づくり

### 現 状：

高齢者を中心とした地域の居場所づくりを進めるサロン活動は24自治会中13自治会14グループで開催されています。現在のサロン活動は、運営に関する課題（担い手不足・新たな参加者の減少等）を抱えています。今後のサロン活動者の育成に取り組むことや、団塊世代の方で趣味から始まり福祉活動へ発展していく支援が必要です。

活動者へ支援を行い、やりがいを持って活動できる仲間づくりを目指して、下記の具体的な行動を実施してきました。

#### 【第2期計画実施事業】

- ・各種福祉団体への活動支援
- ・サロン活動者への後方支援（サロン交流会・情報交換会）
- ・地域福祉の担い手となる新たなボランティア制度導入

### 今後の取組：

各種福祉団体への活動支援の強化と連携及び情報共有を行います。サロン活動の推進と支援、さらに次世代の地域リーダーとなる人材の育成研修に関する企画・実施を行います。また、自治会単位にて福祉委員制度の導入・推進を図ります。

#### 【主な事業】

- ・各種福祉団体（赤十字奉仕団、健康推進員、更生保護女性会等）への活動支援
- ・サロン活動者への後方支援（サロン交流会）
- ・各自治会福祉委員制度の導入・推進
- ・次世代リーダー育成に関する研修会の検討・実施

### 具体的な実施計画：

- 各種福祉団体（赤十字奉仕団、健康推進員、更生保護女性会等）への活動支援  
地域福祉活動を支える団体との連携を図り、活動支援を行っていく。
- サロン活動者への後方支援（サロン交流会）  
サロン代表者を対象とした交流会を実施し、各自治会サロン活動が活性するよう支援を行う。
- 各自治会福祉委員制度の導入・推進  
自治会単位で福祉委員の設置が進むよう支援を行う。
- 次世代リーダー育成に関する研修会の検討・実施  
次世代の地域福祉活動の核となる人材を発見・育成する研修会の検討を行い、実施する。

## お互い様でつながる仲間づくり

### 現 状：

多くの活動団体があり、地区として地域活動は活発である。しかし、次世代を担う若い世代が多い中、地域活動及び自治会活動への参加が少ないなどから、地域課題について共有する機会が必要です。地域の活動がさらに発展し、次につなげられる仲間づくりを目標に、下記の具体的な行動を実施してきました。

#### 【第2期計画実施事業】

- 地域課題の研修と視察  
（テーマ：ひきこもり、認知症、見守り、福祉委員）
- 自治会に向けて「認知症」理解への取組み

### 今後の取組：

高齢化に伴う認知症予備軍の増加に対応すべく、予備知識と認知者への対応などの研修会を開催し自治会への後方支援、地域課題への取組みについて先進視察を行い事業の参考とします。また、要配慮者への取組みについて日頃から自治会で話し合う場を支援する取組みを行います。

#### 【主な事業】

- 暮らしの支えあい検討会の開催
- 地域課題に関する研修・先進地研修の実施
- 自治会に向けて「認知症」理解促進に向けた研修啓発活動

### 具体的な実施計画：

- 暮らしの支えあい検討会の開催  
暮らしの困りごとや地域課題について検討し、課題解決に向けた取組みについて協議。
- 地域課題に関する研修  
現状の課題を把握、地域課題の解決に向け必要な研修会の実施。  
（暮らしの支えあい検討会と連動）
- 先進地研修の実施  
現状の課題を把握、地域課題の解決に向けた取組みに関する研修を実施。
- 自治会に向けて「認知症」理解促進に向けた研修啓発活動  
キャラバンメイトサポーター養成講座を活用し、理解促進を促す。

## 一体となって活動できる仕組みづくり

### 現状：

六荘地区には、多くの団体が活動しており、連携強化を図り効果的かつ効率的な活動が必要です。

まちづくりに関わる様々な団体が連携し、力を合わせることで、効果的で効率的な活動ができる仕組みづくりを目標として、下記の具体的な行動を実施してきました。

#### 【第2期計画実施事業】

- 各種団体と連携した広報活動
- 事業所福祉募金活動
- 三団体連携会議（連合自治会、地域づくり協議会、地区社会福祉協議会）

### 今後の取組：

第2期活動計画を継続し、まちづくりに関わる様々な団体と地域福祉活動への取り組みを協働していきます。

#### 【主な事業】

- 各種団体と連携した地域福祉への取り組み強化と広報活動の深度化
- 事業所福祉募金活動の継続
- 三団体連携会議への参画

### 具体的な実施計画：

- 各種団体及び地域専門職（南長浜地域包括支援センター、長寿推進課、健康推進課、生活支援コーディネーター）と連携し、地域福祉活動の取り組み強化、広報活動の深度化  
自治会、民生委員・児童委員、各種団体、地域専門職（南長浜地域包括支援センター、長寿推進課、健康推進課、生活支援コーディネーター）との地域課題を話し合える関係づくりと懇談会の開催  
広報紙を充実し地域福祉への関心度の向上に努める
- 事業所福祉募金活動の継続  
訪問募金の実施と地域福祉への理解に努める
- 三団体連携会議  
定期的な情報交換の場を活用し、地域福祉活動の推進に向けた意見交換、連携事業の取り組み促進を図る。また、住民福祉活動計画の進捗管理を行い、必要に応じた新たな取り組みの企画検討を行う。



# 安心と安らぎのある仕組みづくり

### 現 状：

六荘地区は、生活環境に比較的恵まれた中、大きな災害もなく、市内で最も高齢化率が低いですが自治会単位での高齢化率、在住人口には差があり、日頃のつながりへの意識が低い傾向にあります。民生委員・児童委員が中心に友愛訪問・見守り活動を行い、一人ひとりに大きな負担がかかっています。

自治会単位で取り組む命のバトン、長浜市避難支援見守り支え合い制度の活用への意識は高まっていますが、地域課題の把握・解決に向けた取り組み提案、自治会を中心とした見守り活動に関する情報共有の場が今後更に必要となっています。

いざという時はもとより、日頃からのつながりをつくることで、見守りのある、安心と安らぎのある仕組みづくりを目標に、下記の具体的な行動を実施してきました。

#### 【第2期計画実施事業】

- ・防災福祉研修会の実施
- ・「命のバトン」導入事業
- ・一体となって「見守り支えあい」の仕組みづくりへの支援

### 今後の取組：

「命のバトン」導入自治会への検証の誘導など事業展開のフォローアップに努めるとともに、六荘地域においては、少子化・高齢化の格差があり、一律では論じられないので、単位自治会の枠を超えた見守り活動を通して、子どもの安全、要配慮者などへの対応ができる組織づくりへの支援活動ができるか検討します。また、再犯防止に関する理解を深め、安心と安らぎのある仕組みづくりを行います。

#### 【主な事業】

- ・「命のバトン」導入事業の継続拡大
- ・自治会の防災と要配慮者への取組の支援
- ・「見守り支えあい」の仕組みづくりへの支援
- ・再犯防止体制の仕組みづくり

### 具体的な実施計画：

- 「命のバトン」導入事業の継続拡大  
現在の登録者の定期的な情報更新、自治会へのフォローアップ、災害時の有効性、見守り活動への利用促進
- 自治会の防災と要配慮者への取組への支援  
自治会と連携して、防災福祉研修会開催、福祉マップ（出前講座）の周知  
要配慮者の把握と避難支援への取り組み方の研修  
防災福祉への取り組みに若年層の参加を誘導
- 「見守り支えあい」の仕組みづくりへの支援自治会ごとの要配慮者に対する見守り支援検討の場を提案

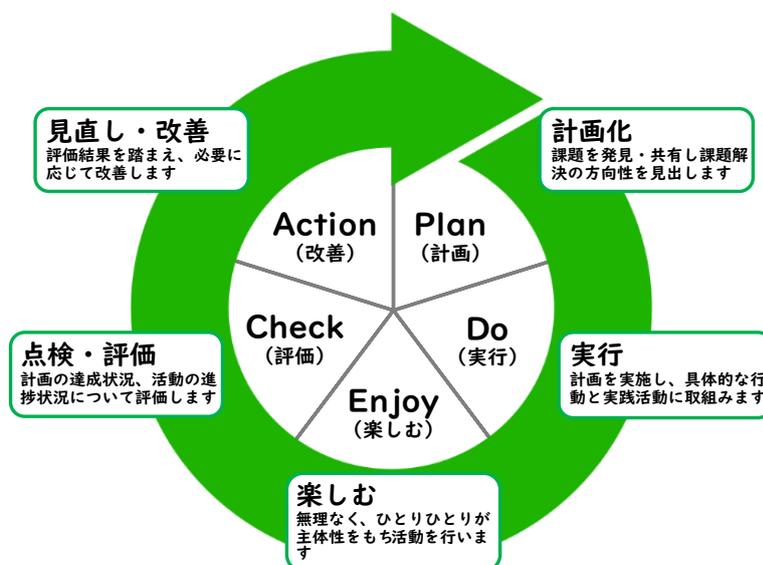
## ■再犯防止体制の仕組みづくり

犯罪をした人等が地域で孤立せず円滑に社会復帰できるよう、また地域住民の理解が深まるように再犯防止や更生保護に関する啓発活動及び研修会等を開催し、地域社会づくりを推進する。

## ◆計画の推進方法

### 計画の推進方法

計画の進捗状況や達成度を定期的に把握、評価し、必要に応じて適宜見直しをおこない、よりよい活動や取り組みを推進する PDECA サイクルに沿って、計画の目標達成に向けた進捗管理に努めます。



## ◆計画策定に関わる情報

### ・計画推進に関わる作業概要（日程）

会議名	実施日	内容
第1回コアメンバー会議	2023年5月30日	第2期住民福祉活動計画振り返り策定手法について協議
第1回策定委員会	2023年6月6日	第2期住民福祉活動計画振り返り策定手法について協議
第2回コアメンバー会議	2023年6月13日	策定手法、データ分析について協議
第2回策定委員会	2023年7月6日	策定手法、データ分析について協議
第3回コアメンバー会議	2023年8月8日	本誌の作成について協議
第3回策定委員会	2023年8月22日	本誌の作成について協議
第4回コアメンバー会議	2023年9月26日	本誌作成について協議
第4回策定委員会	2023年10月6日	本誌の作成について協議
三団体連携会議	2023年10月13日	本誌の作成について協議
第5回コアメンバー会議	2023年10月25日	本誌作成について協議
第6回コアメンバー会議	2023年11月15日	本誌、ダイジェスト版作成について協議
第5回策定委員会	2023年11月21日	本誌、ダイジェスト版の作成について協議
第6回策定委員会	2024年2月15日	ダイジェスト版の作成について協議

• 策定員会名簿

氏名	所属・役職
福嶋 一夫	六荘地区社会福祉協議会会長 六荘地区民生委員児童委員協議会会長
中川 英治	六荘地区社会福祉協議会副会長
梅本 修	六荘地区社会福祉協議会常任理事
成田 悟司	六荘連合自治会会長
朝日 雅己	六荘連合自治会副会長
浅野 陽山	六荘地区民生委員児童委員協議会副会長
川尻 雅彦	六荘地区民生委員児童委員協議会副会長
山崎百合子	六荘地区地域づくり協議会代表
伊藤 節子	長浜赤十字奉仕団六荘分団長
梅本 順子	健康推進協議会六荘地区長
徳田 つる	更生保護女性会六荘分区長
福永 利平	有識者
森田 和幸	趣旨に賛同する者
居川 幸三	趣旨に賛同する者
村岡 孝浩	趣旨に賛同する者
中嶋 康雄	趣旨に賛同する者

この計画は福祉（暮らし）について住民みんなで考え行動するための指針です。この計画の推進にあたり、住民、福祉関係機関及び各種団体の垣根を越えた話し合いの機会をもつことで活動のより良い推進につとめます。住民のみなさんひとりひとりが協力しあい、子どもから高齢者まで、誰もが住みやすいまちを皆さんと一緒につくっていきましょう。

この計画に関するご意見・ご質問など、お気軽にお問合せください。

六荘地区社会福祉協議会 事務局（六荘まちづくりセンター内）



住所：長浜市勝町490

電話：0749-62-0198